

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもプラス盛岡教室				公表日	2026年 3月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・スペースを区切らなければいけない時は個室を使ったり、パーティションを使いスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・職員配置は適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・パーティションを使い、動きのある遊びをする人と座る遊びをする人のスペースを分けるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日、遊具やドアノブ等よく手で触る箇所の消毒を徹底している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・気持ちが落ち着かない時などに、個室を利用して休憩してもらっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0		・職員会議の場で全体で必要事項の共有はしているが、PDCAサイクルをうまく活用できていない面もあり、計画を立てて行うことが必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		・毎年評価表での意見を頂き改善に繋げるよう努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		・職員の意見を設ける場の設定が必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3		・研修を受けた後のアウトプットができていないことが多いため、研修後の報告の場を設けていく。
公表	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1	・アセスメントを適宜行い、モニタリング面談にて保護者の意見を聞きながらサービス計画の作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・サービス計画の作成については児発管だけでなく、他職員も会議に参加して作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	・サービス計画に記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2		・チームで行う場合と個別で行う場合がある。必要な時には相談しながら活動プログラムを考えていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・プログラムが固定化されないように意識している。ただ、毎日行うことで身に付く力もあるのでそこは様子を見ながら行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2		・勤務時間がそれぞれ違うのでわかりやすいように引き継ぎをしていくやり方を検討していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・活動後にその日の振り返りをして記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年に1回、モニタリングを行い見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・サービス担当者会議には管理者および児発管が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・家族、園と他事業所での就学前の会議に参加し情報を共有した。	・就学する子もいるので学校との情報共有などをしていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・交流の場は設けていない。		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	・面談時、その他必要に応じて保護者の方と話し合う場を設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		・ペアレントトレーニングについての研修を受けることが必要。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	・契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	・モニタリング時に保護者から意見を聞くようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・相談があった時には助言するよう努めている。	・さらに専門的な知識を知っていくことが必要。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		・今年度中には保護者会の場は設けられなかったが、今後実施する予定。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	・苦情解決についての体制は整備している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・毎月おたよりの発行と不定期でSNSで活動の様子を伝えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・写真を載せることについては、契約時に承諾を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・地域の催しに出かける等している。	・事業所として地域に開かれた活動は行っていないが、今後検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	・マニュアルは作成している。 ・年2回の避難訓練を実施している。	・保護者への周知は完全にはできていない部分もあり、細やかにしていきたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	・BCPの作成はしている。	・訓練の内容等、様々なことを想定して行う必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・服薬の変更については適宜確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・アレルギーの有無については契約時に確認している。その後変更がある場合は面談時に確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		・様々なことを想定した訓練が必要。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		・保護者に向けての周知が不十分なため今後細やかに行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・毎月の職員会議で共有している。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2	・虐待防止についての研修を受けている。	・職員全体に周知できるような場を設定していく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・サービス計画に記載している。	